

**2021年3月期
第2四半期 決算説明資料**

2020.12.11



カーリットホールディングス株式会社

CODE : 4275

1. 2021年3月期第2四半期 決算概要

2. 2021年3月期 通期見通し

取締役兼常務執行役員 森下 貴

3. 今後の取り組み

代表取締役社長 金子 洋文

2021年3月期 第2四半期 決算概要

(単位：百万円)	2020年3月期 第2四半期 実績	2021年3月期 第2四半期 実績	差 異 増 減 率
売 上 高	24,228	21,116	△3,112 △12.8%
売上原価	20,393	17,886	△2,506 △12.3%
販売費及び一般管理費	3,253	3,024	△376 △7%
営業利益	582	205	△376 △64.7%
経常利益	699	313	△386 △55.2%
純 利 益	241	135	△106 △43.9%

(単位：百万円)	売 上 高			営 業 利 益		
	2020年3月期 第2四半期 実 績	2021年3月期 第2四半期 実 績	差 異	2020年3月期 第2四半期 実 績	2021年3月期 第2四半期 実 績	差 異
化学品	10,953	8,983	△1,970	482	234	△248
ボトリング	8,349	7,792	△556	△127	△218	△90
産業用部材	4,052	3,542	△510	△9	49	+ 58
エンジニアリング サービス	1,262	1,106	△156	203	57	△145
報告セグメント計	24,619	21,425	△3,193	549	123	△425
連結合計	24,228	21,116	△3,111	582	205	△376

従来「その他」に属していた、カーリット産業(株)・富士商事(株)・(株)総合設計・(株)エスディーネットワークを「エンジニアリングサービス」に移管。変更後の区分方法による比較。

【化学品】

- ↗産業用爆薬 = セメント需要・土木向けの増加
- ↘自動車用緊急保安炎筒（発炎筒） = 新車販売台数の減少・車検の期限延長
- ↘煙火関連 = 全国各地の花火大会の中止
- ↘塩素酸ナトリウム（紙パルプ漂白剤） = 紙需要の減少
- ↗亜塩素酸ナトリウム = 殺菌用途の増加
- ↘過塩素酸アンモニウム（固体推進薬原料） = ロケット打ち上げ本数の減少
- ↗電子材料関連製品 = パソコン・通信機器需要の増加、5G関連への採用

【ボトリング】

- ↘缶・ペットボトル飲料 = 外出・出張自粛、インバウンド需要消失による駅・自販機・コンビニ向け需要の減少

【産業用部材】

- ↗半導体用シリコンウェーハ = パソコン・通信機器需要の増加
- ↘耐火・耐熱金物 = 鉄鋼需要の減少、その他工事の延期
- ↘ばね・座金製品 = 建機の販売低迷、自動車の生産抑制

【収益面】

- ↗自社水力発電所の高稼働、運送費・出張費用等の減少

矢印：前期比較の増減

赤字：新型コロナウイルス感染症拡大による影響

(単位：百万円)	売上高			営業利益		
	2021年3月期 第2四半期 計画	2021年3月期 第2四半期 実績	差異	2021年3月期 第2四半期 計画	2021年3月期 第2四半期 実績	差異
化学品	9,500	8,983	△516	200	234	+34
ボトリング	7,500	7,792	+282	△220	△218	+2
産業用部材	3,700	3,542	△157	△30	49	+19
エンジニアリング サービス	1,100	1,106	+6	100	57	△42
報告セグメント計	21,800	21,425	△71	50	123	+123
連結合計	21,600	21,116	△483	50	205	+155

全般的な費用低減（下期も継続見込）

統合報告書「カーリットレポート2020」発行

- 価値創造のあゆみ
- マテリアリティ（重要課題）とSDGsとの関連性
- 「モノづくりを通じたCSR」を軸とした事業戦略
- 経営基盤の強化に向けたESGへの取り組み
- 事業等のリスク など

☛ <http://www.carlithd.co.jp/csr/>

参加目標	
キャリアグループの4つのマテリアリティ(重要課題)	
● 地域社会貢献 ● ワークライフバランス実現	
安心・安全で活き活きとした職場環境づくり	
● 従業員満足 (ES) ・ 人事制度、人事評価・人事教育 ・ 働きやすい職場環境	P21・22
● 安全・衛生・労働環境の確保 ・ 労働安全、衛生・労働環境の確保 ・ 労働者、ドクター・ハット、EYE検閲実施	P31
優秀性・透明性・信頼性のある情報発信の強化	
● 重要経営決定に関する情報発信 ・ 取締役会の意思決定に関する情報 ・ IRポータルサイトの運用 ・ コーポレート・ガバナンス・コードの改訂	P25・26
● 広報関係者 ・ コンパリアン・IR関係者との連携 ・ コンパリアン・IR関係者（株主・債権者、取引先と関係機関）との連携 ・ コンパリアン・IR関係者（株主・債権者、取引先と関係機関）との連携 ・ 経営者に対するIR関係者との連携 ・ IR関係者に対するIR関係者との連携	P27・28
● ステークホルダーとの関係性・関係性に関する情報発信 ・ IRポータルサイトの運用 ・ IRポータルサイトの運用	P33
豊かな社会実現への貢献	
● 教育・防災 ・ 教育・防災に関する情報発信 ・ 教育・防災に関する情報発信 ・ トヨタ教育・防災に関する情報発信	P11・16
● 環境・エネルギー ・ 環境・エネルギーに関する情報発信 ・ 環境・エネルギーに関する情報発信 ・ 環境・エネルギーに関する情報発信	P11・16 P29・30
● 社会・健康 ・ 社会・健康に関する情報発信 ・ 社会・健康に関する情報発信 ・ 社会・健康に関する情報発信	P11・16
● 消費者の安全安心の確保 ・ 消費者の安全安心の確保 ・ 消費者の安全安心の確保 ・ 消費者の安全安心の確保	P32
株主総会との対話	
● 株主総会への参加 ・ 株主総会への参加 ・ 株主総会への参加 ・ 株主総会への参加	P34

P. 9~P.10

[illegible]

P.13~P.14

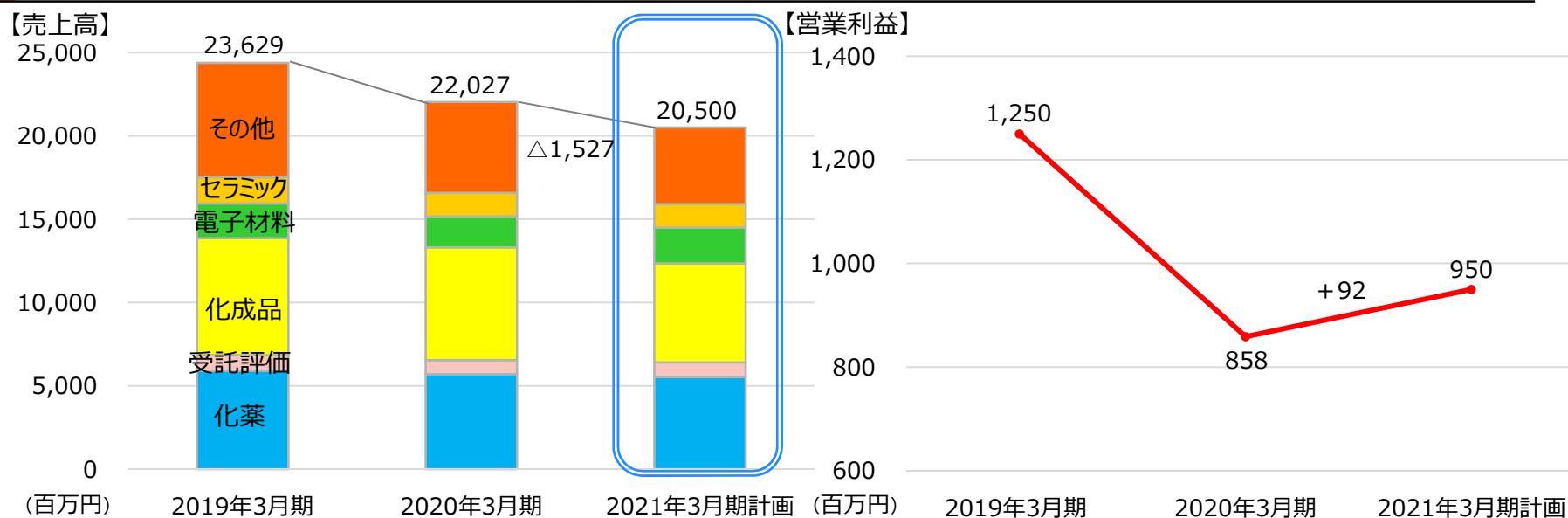
2021年3月期 通期見通し

(単位：百万円)	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期予想	差 異
			増 減 率
売 上 高	49,745	47,000	△2,745 △5.5%
営業利益	1,599	1,500	△99 △6.2%
経常利益	1,732	1,600	△132 △7.6%
当期純利益	690	1,000	+310 +44.8%
配当（1株あたり）	12円	12円	—

新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大、感染の収束に向けた見通しが不透明であるものの、現時点において想定し得る影響を踏まえ、2020年5月22日の2020年3月期決算短信で公表した連結業績を予想を据え置き。

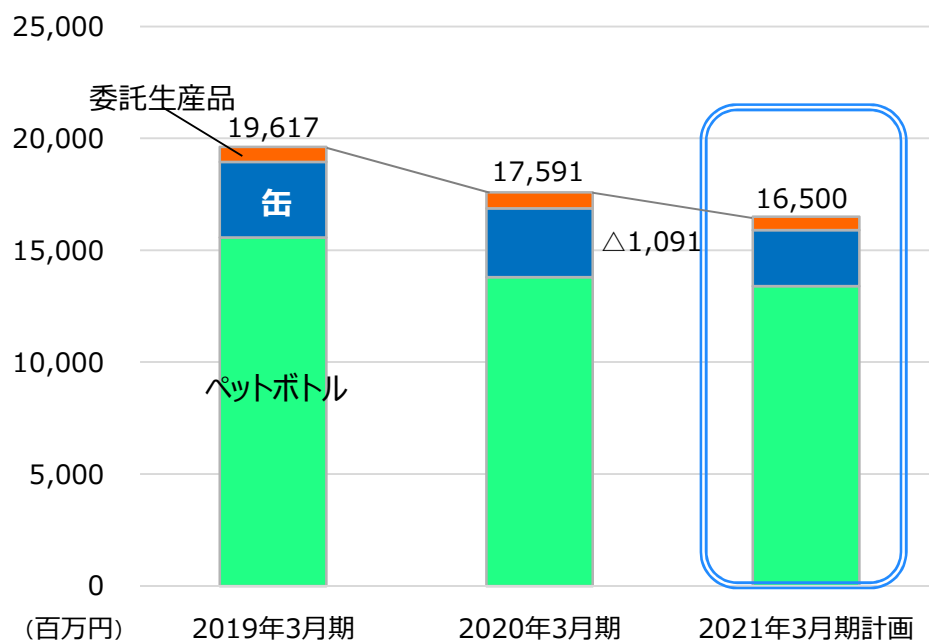
	売 上 高			営 業 利 益		
	2020年3月期 実 績	2021年3月期 計 画	差 異	2020年3月期 実 績	2021年3月期 計 画	差 異
(単位：百万円)						
化学品	22,027	20,500	△1,527	858	950	+92
ボトリング	17,591	16,500	△1,091	196	50	△146
産業用部材	8,005	7,800	△205	△40	200	+240
エンジニアリング サービス	—	2,600	—	—	300	—
連結合計	49,745	47,000	△2,745	1,599	1,500	△99

緊急保安炎筒（発炎筒）	上期は自動車の生産・販売台数減少、車検の期限延長により減販 下期は反動需要などで回復基調
煙火関連	全国各地の花火大会の中止による影響が通期にわたり継続
受託評価試験	顧客の出張自粛による試験延期が継続、新規サービスの導入により拡販
塩素酸ナトリウム（紙パルプ漂白剤）	上期は紙需要の大幅な落ち込みを受け減販 下期は緩やかな回復
過塩素酸アンモニウム（ロケット固体推進薬）	ロケット打ち上げ本数の減少により減販
電子材料関連	パソコン・通信機器の需要増加、5G関連への採用により増販
機能材料関連	上期はオフィス向け複合機・プリンター向けの需要減少により減販 下期は緩やかな回復
合成樹脂原料（三協実業）	上期は需要減少、販売単価の下落により減販 下期は需要・単価とも回復基調

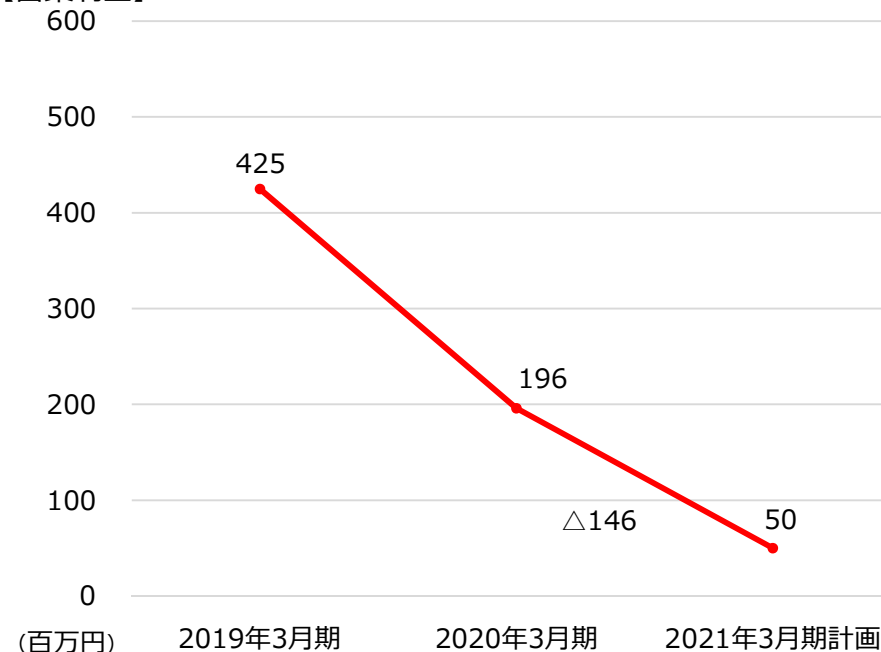


稼働状況	前年は一部の製造ライン不具合が発生、当該ラインの稼働を一時的に停止しメンテナンスを実施以降、再発防止策を強化し稼働
駅・コンビニ向け缶・ペットボトル飲料	外出・出張自粛による需要低迷が継続 冬季の製品切り替えによる回復に期待
新規製造ライン建設	今中期経営計画での設備投資計画だったが、現下の状況を検討し中止

【売上高】

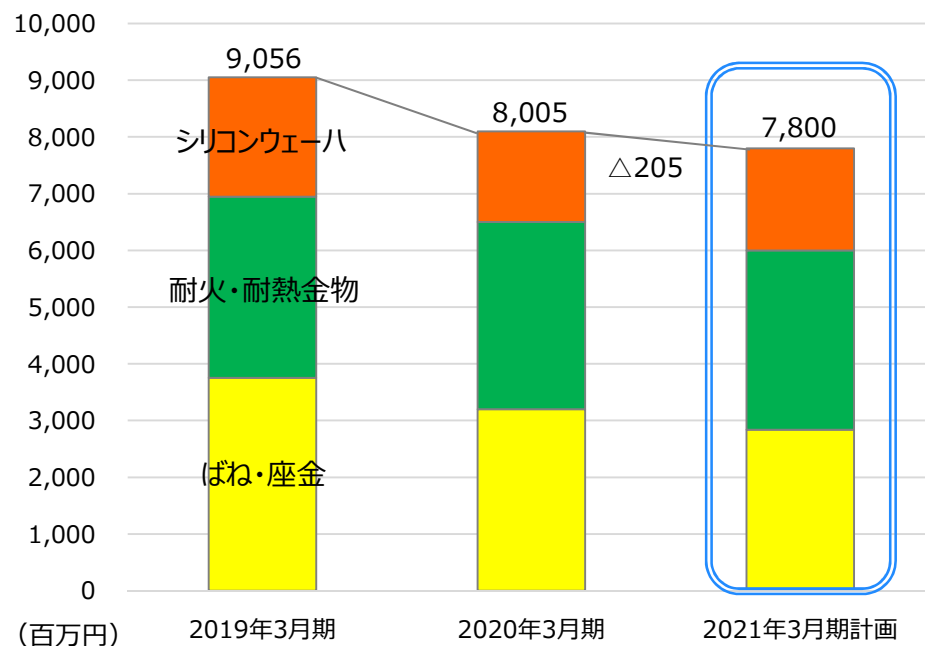


【営業利益】

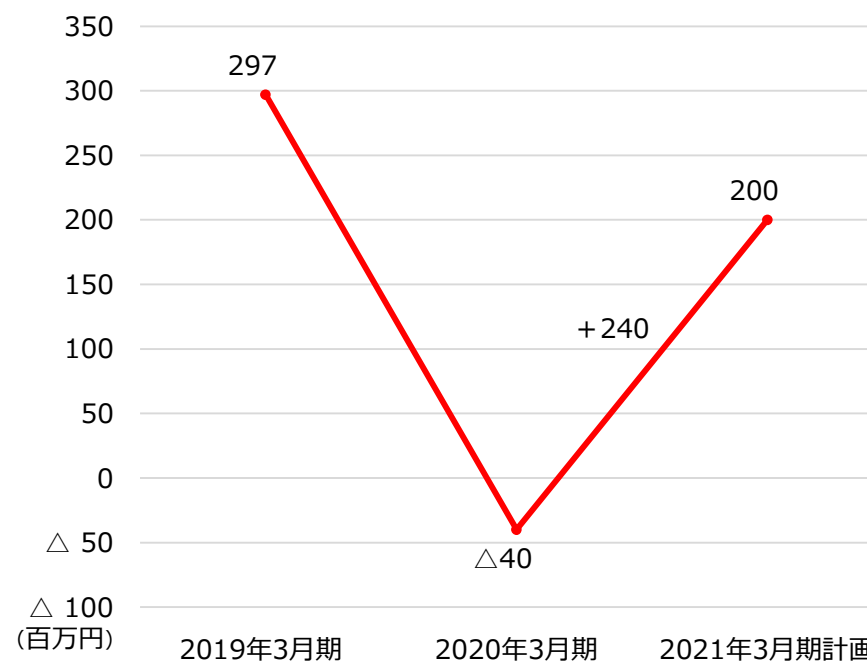


半導体用シリコンウェーハ（シリコンテクノロジー）	上期はパソコン・通信機器の需要増加による増販 下期は一服感を見込む
耐火・耐熱金物（並田機工）	上期は鉄鋼需要の減少、その他工事の延期により減販 下期は緩やかな回復、延期案件の着工を見込む
ばね・座金製品（東洋発條工業）	上期は自動車・建機の販売低迷により減販 下期は反動需要などで回復基調 従来より取り組んできた抜本的な構造改革が功を奏し、利益は大幅に改善

【売上高】

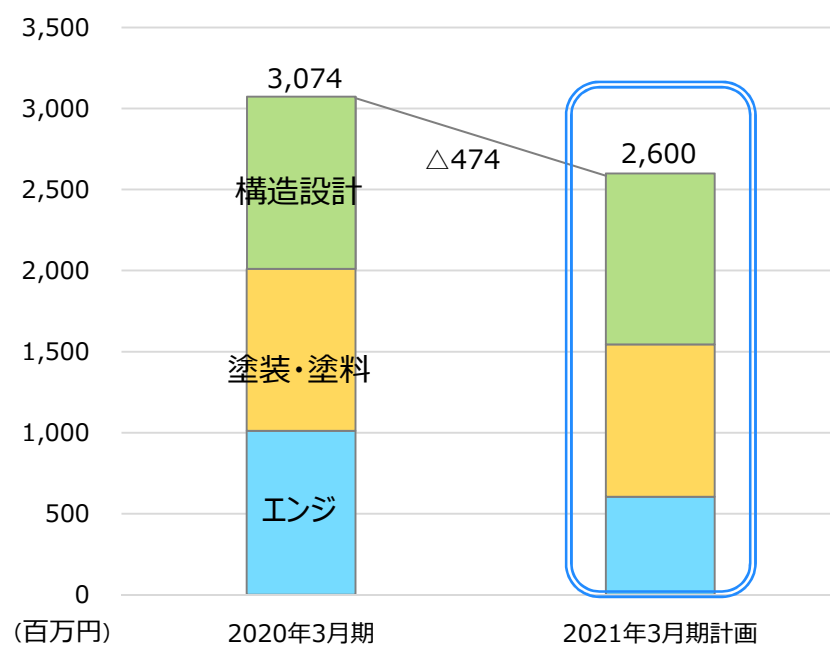


【営業利益】

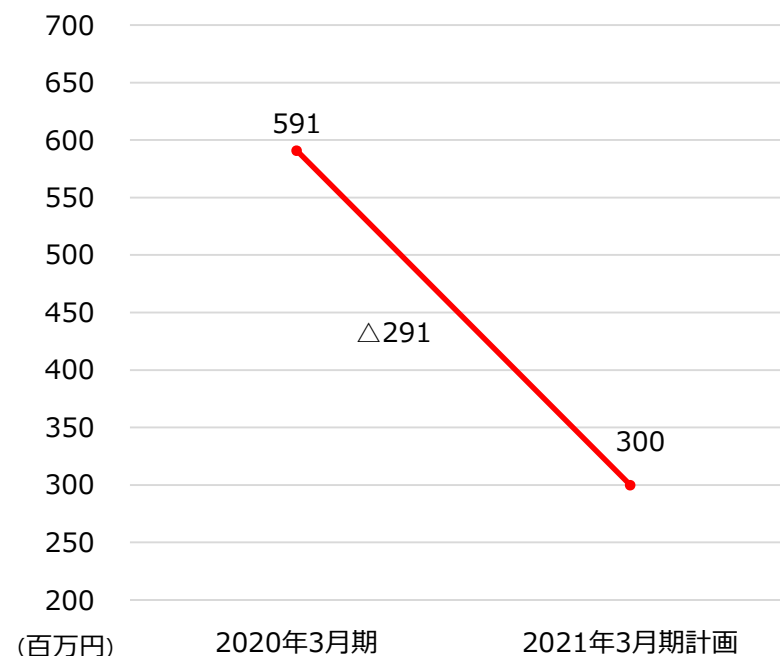


エンジニアリング（カーリット産業）	前年の大型設備工事案件の見込みがなく通期にわたり減販
塗料販売・塗装工事（富士商事）	上期は塗装工事需要の低迷による減販 下期は反動需要などで回復基調
構造設計（総合設計・SDネットワーク）	上下水道施設向けは順調に推移

【売上高】

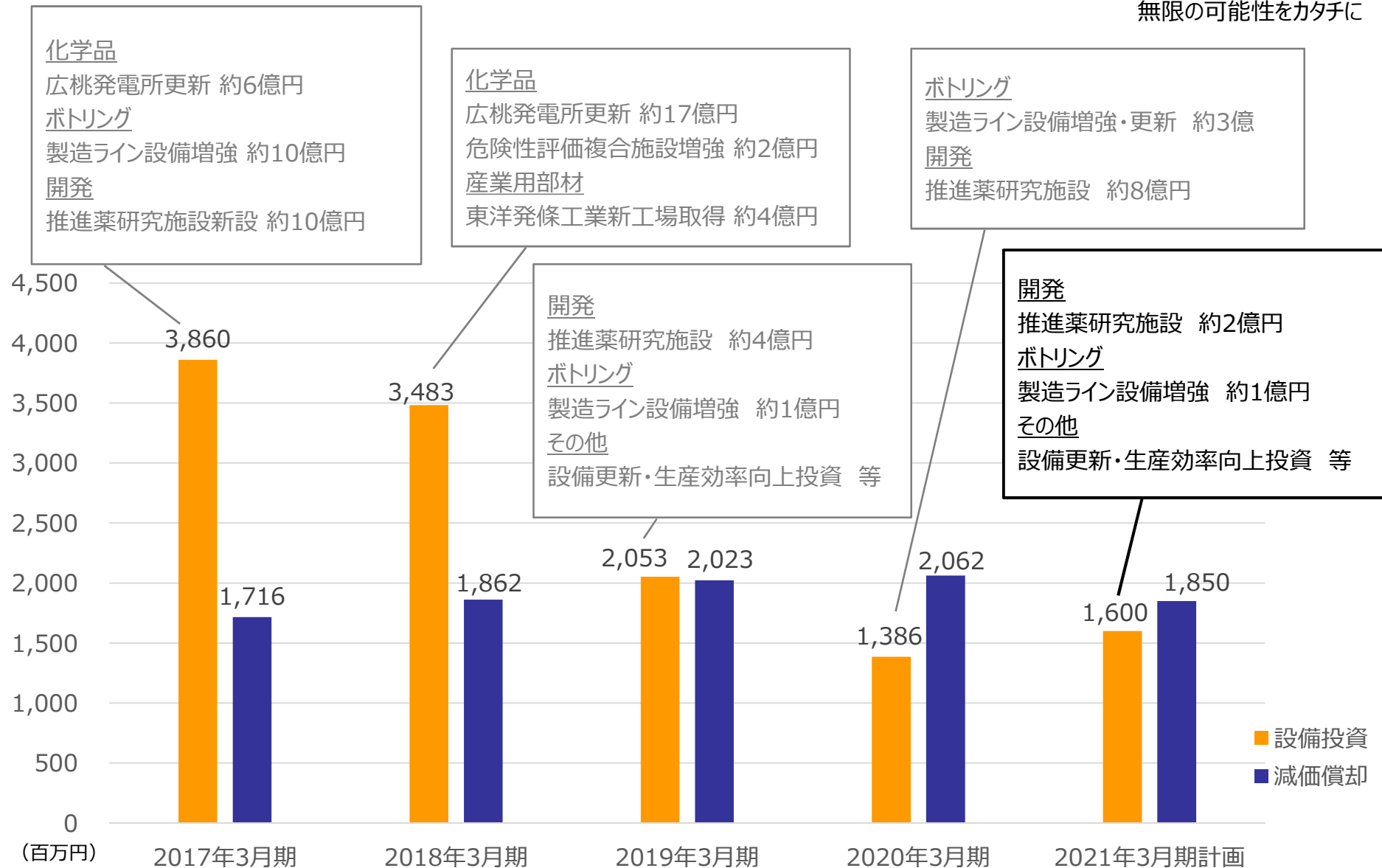


【営業利益】



通期見通し

<設備投資・減価償却>



今後の取り組み



氏名 金子 洋文 (かねこ ひろふみ)

生年月日 1960年 4月30日

出身 北海道札幌市

略歴

1984年 4月	日本カーリット(株) 入社
2010年10月	佳里多(上海)貿易有限公司 董事長
2011年10月	日本カーリット(株) 化学品事業本部 化成成品部長
2015年 6月	カーリットホールディングス(株) 執行役員 日本カーリット(株) 代表取締役社長兼営業本部長
2018年 4月	カーリットホールディングス(株) 取締役兼常務執行役員
2020年 6月	カーリットホールディングス(株) 代表取締役社長

中期経営計画「ワクワク21」（2019年度～2021年度）

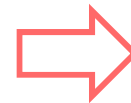
【基本テーマ】

利益指向で事業の足場固めを積み重ね、**新たな取り組み**に向けた経営資源の投入を推進

【最終年度数値目標（2019年6月10日開示時点）】

売上高 = 650億円（現行会計基準）

営業利益 = 30億円



現在精査中

現状の認識

収益性の向上	既存事業・既存製品 →利益体質の維持 構造改革 →産業用部材事業等で奏功、継続
新規事業・新規製品の創出	「選択と集中」、開発体制の強化 →早期の製品化
新型コロナの影響	働き方改革などを推進

研究開発の状況

宇宙関連

民間ロケットに向けた
固体推進薬への取り組みを強化



©JAXA/三菱重工

二次電池関連材料



環境への負荷の軽減に向けた
次世代電池用材料の開発に
注力

ライフサイエンス

化粧品・バイオ素材・機能性
食品などの素材開発を通し
SDGsへの貢献を目指す



電子材料・半導体材料



AI・IoT・5Gの普及に向けた
高性能な材料開発に注力

研究開発の状況

宇宙関連

民間ロケットに向けた
固体推進薬への取り組みを強化



©JAXA/三菱重工

二次電池関連材料



環境への負荷の軽減に向けた
次世代電池用材料の開発に
注力

ライフサイエンス

化粧品・バイオ素材・機能性
食品などの素材開発を通し
SDGsへの貢献を目指す



電子材料・半導体材料



AI・IoT・5Gの普及に向けた
高性能な材料開発に注力

研究開発の状況

宇宙関連

民間ロケットに向けた
固体推進薬への取り組みを強化



©JAXA/三豊重工

二次電池関連材料



環境への負荷の軽減に向けた
次世代電池用材料の開発に
注力

ライフサイエンス

化粧品・バイオ素材・機能性
食品などの素材開発を通し
SDGsへの貢献を目指す



電子材料・半導体材料



AI・IoT・5Gの普及に向けた
高性能な材料開発に注力

研究開発の状況

宇宙関連

民間ロケットに向けた
固体推進薬への取り組みを強化



©JAXA/三菱重工

二次電池関連材料



環境への負荷の軽減に向けた
次世代電池用材料の開発に
注力

ライフサイエンス

化粧品・バイオ素材・機能性
食品などの素材開発を通し
SDGsへの貢献を目指す



電子材料・半導体材料



AI・IoT・5Gの普及に向けた
高性能な材料開発に注力

研究開発の状況

宇宙関連

民間ロケットに向けた
固体推進薬への取り組みを強化



©JAXA/三菱重工

二次電池関連材料



環境への負荷の軽減に向けた
次世代電池用材料の開発に
注力

ライフサイエンス

化粧品・バイオ素材・機能性
食品などの素材開発を通し
SDGsへの貢献を目指す



電子材料・半導体材料



AI・IoT・5Gの普及に向けた
高性能な材料開発に注力

DX（デジタルトランスフォーメーション）に対応

伸長が見込まれる半導体分野への独自の材料開発

STウェーハ

窒化ガリウム(GaN)成膜時の熱による反り・スリップが発生しにくい。GaN基盤の低価格化に寄与

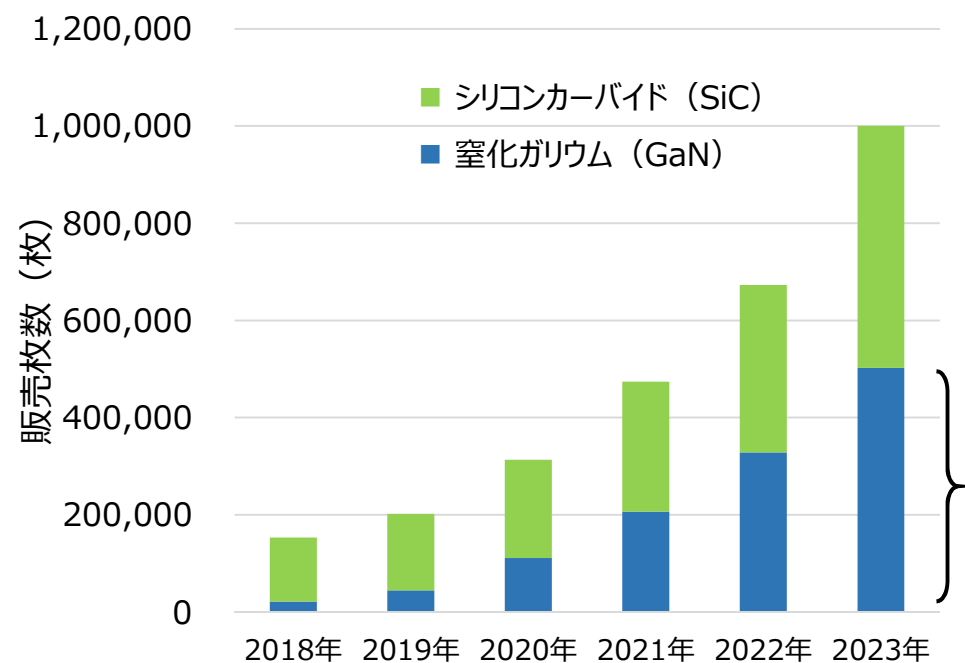
⇒カスタマイズ・海外展開により拡販

精密研磨テープ

ウェーハの表面・裏面・側面の加工に使用、品質・生産性の向上に大きく寄与

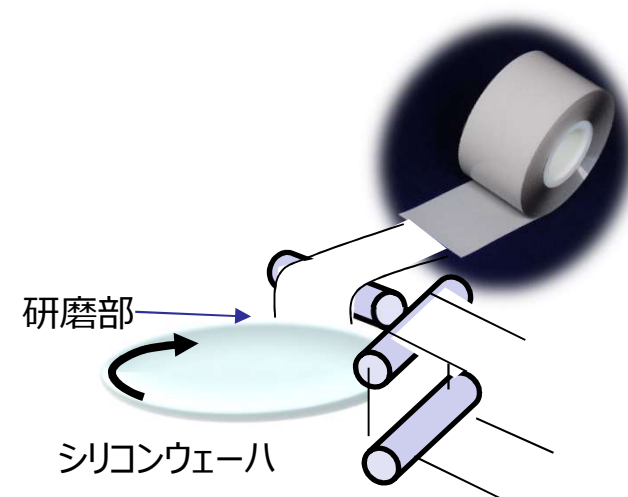
⇒早期の実用化に向けスピードアップ

▼化合物半導体の市場予測



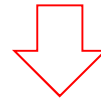
300億円市場

【出典：Yole Développement】



目指す姿

パラダイムシフト
新たな経営・組織・働き方



利益の拡大

既存事業・製品による足場固め

新規事業・製品の早期創出

人財の育成



《カーリットグループの持続的な成長と持続可能な社会の実現》

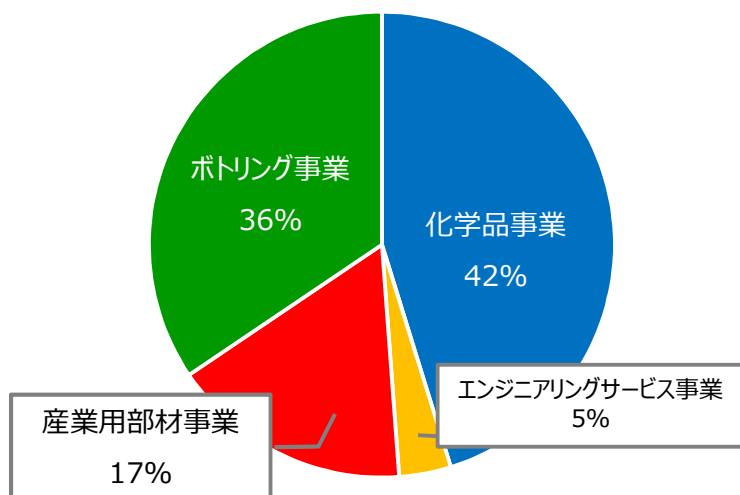
IRに関するお問合せ先：
カーリットホールディングス株式会社
広報部

電話：03-6893-7060
メール：pr@carlit.co.jp

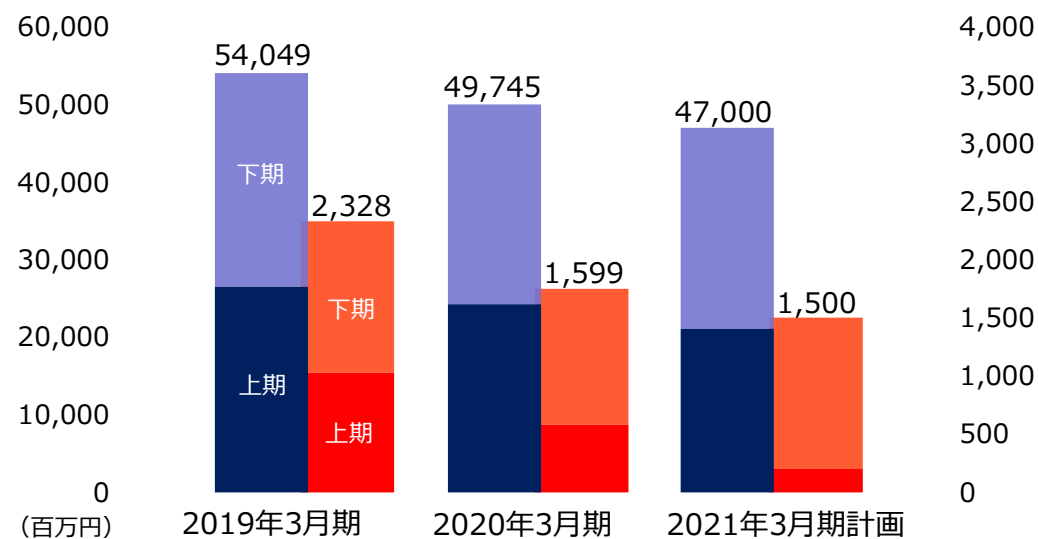
本資料は当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては断りのない場合は2020年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本 社	東京都中央区京橋一丁目17番10号	代表者	代表取締役社長 金子 洋文
創 業	1918年	設 立	2013年10月 1日
資本金	2,099,530,000円	従業員数	1,088名 (連結)
発行済株式数	24,050,000株 (1 単位100株)	単元株主数	27,807名

<2021年3月期第2四半期 売上高構成比>



<売上高・営業利益推移>



(単位：百万円)

	2020年 3月31日	2020年 9月30日	差異		2020年 3月31日	2020年 9月30日	差異
資産の部				負債の部			
現金及び預金	4,730	4,986	256	支払手形及び買掛金	5,177	4,345	△831
受取手形及び売掛金	10,239	8,173	△2,065	有利子負債	9,566	9,049	△517
棚卸資産	4,461	4,499	37	その他負債	7,971	7,777	△193
その他流動資産	1,108	1,184	76	負債合計	22,715	21,172	△1,542
有形固定資産	20,542	20,287	△255	純資産の部			
無形固定資産	107	84	△22	株主資本	23,613	23,501	△111
投資その他の資産	7,735	8,607	871	その他の包括利益 累計額等合計	2,596	3,149	553
				純資産合計	26,209	26,651	441
	48,924	47,823	△1,101	負債純資産合計	48,924	47,823	△1,101

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,967	2,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△321	△867
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,304	△944
現金及び現金同等物の増減額	337	286
現金及び現金同等物の期首残高	4,286	4,622
現金及び現金同等物の期末残高	4,624	4,909